

「ロータリーの目的」 の邦訳を考える

千歳 福田 武男

「ロータリーの目的」の主文は、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」となっています。ところが二〇一三年の規定審議会によって、職業を持たない人も会員になることが可能になったため、主文の中の「事業」という文言は改訂される必要があるのではないでしょうか。原文でこの部分は「enterprise」となっていますが、英語を母国語とする人に確認してみると、この「enterprise」という語句はむしろ「activity」という意味で使われているとのこと。そこで自分なりに邦訳をしますと、「ロータリーの目的は、意義ある日常活動の根底にサーヴィスの心が大切であることを地域社会に奨励し、これを育むことにある」となり、以下に続く四つの詳細とより整合性が取れるような気がしますが、いかがでしょうか。